

学 校 経 営 計 画(平成26年度～平成28年度)							教職員数		3		学級数		1(1)		児童・生徒数		4(1)		土佐清水市立窪津小学校 *学校番号()																								
校長		山崎修二		教頭		渡辺昌幸		主幹 教諭				指導 教諭				教務 主任		渡辺昌幸		研究 主任		高坂昌子		道徳教育 推進教師		渡辺昌幸		学校図書館 担当		高坂昌子		体育 主任		渡辺昌幸		生徒指導 担当		渡辺昌幸					
学校教育目標			よりよい未来に向けて主体的に社会に参画する人間の育成														研究主題		思いやりの心をもち、自分の考えを進んで表現できる児童の育成																								
Ⅰ 学 校 経 営 理 念								Ⅲ 中 期 学 校 経 営 基 本 方 針(1年目～3年目)								Ⅳ 中 期 目 標 指 標(3年目)								Ⅵ 経 年 に お け る 検 証 ・ 評 価																			
学校は憲法の精神のもと、教育基本法及び学校教育法その他の法令等にもとづき、健康で豊かな人間性と実践力を身に付けた、「平和で民主的な社会」を築く一員としての児童の育成を目指すなければならない。児童がそれぞれの発達段階において、将来の自己実現に向かって主体的に取り組むことが一人ひとりの人格の完成にとって大切である。新たな21世紀を生きる児童の個性と能力を最大限開化させるための教育創造に取り組むことが大切である。また、学校には「チームで対応する力＝組織力」が求められる。その背景として多様化・複雑化する学校教育課題あるいは教員の年齢構成の変化、学び方の変化に伴う教育方法の開発や教員同士の学び合い、専門的知識・技能をもった専門家の必要生が考えられる。こうした観点から学校経営の理念の中心を以下の三点を柱としたい。 1、主体的に社会に参画する児童の育成 2、自分の将来をしっかりと考えられる児童の育成 3、地域を知り、地域を大切にする児童の育成								(1)各教科の指導の充実と改善 ・基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、指導と評価を一体化させた指導を充実する。 ・個々の興味・関心や習熟の程度に応じたよりきめ細かな指導を行う。 ・言語活動を重視した児童相互の学び合いを工夫して実施する。 ・学習意欲の向上と自ら学ぶ態度を育てるために、ICT機器の活用や、家庭と連携した学習意欲の確立を図る。 ・特別支援教育の充実とその視点にたった教育内容の推進を図る。 (2)道徳教育の充実 ・人を思いやることや誠実に生きることの大切さ、生命のかけがえのなさや規範意識の価値を一人ひとりの児童が自覚し、確かな道徳の実践力が身につくよう、道徳の時間を全教育活動における道徳教育の要とする。 ・道徳教育推進教師を中心とし、全教職員が組織的に取り組む。 ・家庭や地域社会との共通理解・連携を図る。 (3)人権教育の推進 ・教育活動を通じて、人間尊重教育を進め、人権意識の向上を図る。 ・人権教育学習の計画的、系統的な指導に努め、差別をしない、させない、許さない子どもを育てる。 ・教師の人権教育観を確立するとともに地域社会との連携を深める。 (4)特別活動の充実 ・児童間で確かな人間関係を育み、一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう話し合い活動、集会活動、委員会・クラブ活動において自発的・自治的な活動を工夫する。 ・学級や学校の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度が身につくよう、各教科、道徳の学習や外国語活動、行事との関連を図った指導を充実する。 ・集団の一員としての自覚を深め協力する態度、責任感、連帯感を育てる。 ・学級、学校の質的向上と充実を図る。 (5)体力づくり ・健康・安全指導の徹底・体力の向上を目指した取り組みをする。								(1)各教科の充実と改善 ◇各学年の学習内容が定着している。 ＜・各教科の到達目標100％達成 ・全国学力テストAB問題とも全国平均以上＞ ◇複式授業のスタンダード化できている。 ◇学習に主体的に取り組むことができている。 ＜・授業が楽しいと評価している児童100％ ・授業が分かると評価している児童の割合100％ ・家庭学習時間目標達成者の割合100％ ・自主学習に全児童が取り組む100％＞ ◇個々の児童のニーズにあった教育推進ができている。 (2)道徳教育の充実 ◇道徳的心情を児童一人ひとりがもっている。 ＜・道徳意識調査では、全項目平気委3.5以上(満点4)＞ ◇学校の教育活動全体を通じて道徳性育成できている。 ◇道徳を計画的に行えている。 (3)人権教育 ◇学校教育全体を通じ人権教育が行われている。 ◇人権意識調査では、人権は大切なものであるととらえている。 ＜・意識調査、全項目3.5以上(満点4)＞ (4)特別活動の充実 ◇学校・学級生活において、仲間意識を大切にする心をもち、主体的に活動できている。 ＜・Q-Uテスト満足群の割合100％＞ ◇外国語学習に意欲的に取り組んでいる。 ＜・外国語が好きな児童100％＞ (5)体力づくり ◇日常生活の中に運動習慣を位置づけて生活できている。 ＜・運動量一日60分以上 ・運動好きな児童の割合100％＞										知		徳		体		成果や課題を分析し、改善すべき点											
Ⅱ 学 校 経 営 基 本 方 針																																											
知		徳		体										1年目		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D																							
														2年目		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D																							
														3年目		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D		A ・ B ・ C ・ D																							
)																																											
1 平成26年4月当初の学校の状況(課題は何か)								2 具体的な到達目標(あるべき姿、望ましい状態)								中間検証時の状況 及び 考察								平成26年度末の検証(到達状況及び次年度に向けて)																			
知		徳		体		1、学年の学習内容を十分理解することができている。教科到達目標達成者100％ 2、授業力診断において全項目平均3.5以上 3、学習内容がわかると評価している児童の割合100％ 4、複式授業のスタンダード化ができている。 5、全児童が家庭学習及び自主的学習にできる学習習慣がついている。								A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																			
														A ・ B ・ C ・ D																													
														A ・ B ・ C ・ D																													
知		徳		体		1、日常生活に読書習慣がついていて、一日30分以上の読書をしている。 2、道徳的心情・態度をもって生活できている。道徳意識調査では、他者や社会との関わりにおいて、まわりをしっかりと見つめ節度ある態度がとれている。(平均3.5以上 満点4) 3、自己肯定感をもって主体的に行動できる。 4、将来の自己目標をしっかりと語ることができる。 5、学級生活を満足して送っている児童の割合100％								A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																			
														A ・ B ・ C ・ D																													
														A ・ B ・ C ・ D																													
知		徳		体		1、運動をする時間を設定し、日頃から体を鍛える取り組みを進める。また、体育授業の改善を行い、体カテストでは全児童B判定以上を目指す。 2、学校だけの体育の取り組みではなく、日常生活に運動をする時間を位置づけた生活を送ることができる。生活実態調査では、毎日の運動量を60分以上(1日) 3、早寝・早起き・朝ご飯や適度な運動を行うことで、体の基本バランスを保つという基本的な生活習慣を意識した生活できる。								A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																			
														A ・ B ・ C ・ D																													
														A ・ B ・ C ・ D																													

3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別) ※各項目内の枠の区切り方や「スケジュール」の時期の示し方は、適宜設定してください。																	
課題解決を図るための項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	スケジュール ※いつ、何を行うかの目安を記入してください。													評価指標に対する到達状況及びその理由、その要因	次年度に向けての重点的な取組
			4月	5月	6月	7月	8月	中間検証(改善のために行う今後の重点)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
知	学力向上のための組織的な校内研修等の取組 【研究主任】	・教育目標具現化に向けた目的と目標、手立ての明確化 ・学校経営参画の意識付け ・学校経営方針を基に、具体的取組を計画し共通認識を図って、研究推進にあたる。 ・児童や保護者、地域に、目指す学校像や児童像を明確に示す。 ・学テ、到達度把握検査の分析と改善の取り組み	「学校評価アンケートで「授業がわかりやすい」の項目で肯定的評価(児童、教職員80%以上) ・学校たより(月1回)やホームページ(更新週3回以上)で知らせる。 ・学テ、到達度把握についての研修会(年3回)		「教育計画」「教科経営案」の作成 教育活動実施後検証 各教科等の年間指導計画の見直し		1学期の取組み検証・今後の確認		教育活動実施後の検証及び次年度に向けてのプラン作成 学校便り等で2学期の説明 PTA役員会や参観日で周知徹底 学校評価の実施						・平成27年度の学校経営計画確認		
	子どもにわかる授業づくり 【研究主任】	・研究授業を行い、実践を通して複式授業のあり方や授業のスタンダード化を図る。 ・講師を招聘しての公開授業研を実施し、複式授業の改善を図る。 ・国語学習シートや算数単元テストを理解把握と定着の両面で活用する。 ・授業力診断シートを活用し授業改善を図る。	研究課題・内容・方法の確認 ・「授業力診断シート等での評価」・・・実態把握 ・複式授業の改善と取組み ・5.6年授業研(6月)		学校評価・・・授業についての中間検証 学習の定着状況確認・活用方法	授業力診断シート等での評価 授業についての終検証開始 ・さくら学級授業研(11月) ・学習発表会(12月)						・授業評価の総括と次年度の課題の確認					
	基礎学力の定着を図る取り組み 【研究主任】	・漢字力向上の取り組み ・計算パワーアップ ・金曜くぼつ子(毎週1時間)の基礎計算学習 ・外国語教育の充実	1年から自分の学年の漢字・・・100点 ・各学年の計算問題・・・100点		基礎学力向上の取り組み(漢字・計算)		基礎学力の中間検証		基礎学力向上の取り組み(漢字・計算)						・基礎学力定着状況の確認と生活実態調査の見直し ・学習方法等の検討		
	予習・復習の質と量を高める取組 【研究主任】	・家庭学習の目標時間の設定(学年×10分+10分) ・自主学習に取り組む ・家庭学習強化週間を行う(月1週間) ・家庭と連携して学習習慣の改善を図る ・生活実態調査の実施	生活調べ 家庭学習について全員目標達成 ・家庭学習をしている児童の割合80%以上 ・学年の家庭学習の目標達成者の割合80%以上 ・予習・復習の自主学習を1日1ページ以上 ・生活実態調査の実施		家庭学習の有効な取組実施(家庭学習強化週間設定 毎月1週間)		実態調査の実施		家庭学習の有効な取組実施(家庭学習強化週間 月1回) ・夏休みの家庭学習集約						・自主学習の取り組み見直し ・生活実態調査の見直し		
徳	読書活動の推進 【図書担当】	・全校読書タイムの設定 ・ボランティアによる読み聞かせ活用の推進 ・年間読書到達目標を設定する。(チョモランマ読書) ・授業で図書館を活用する。	ボランティアによる「読み聞かせ」(月2回) ・読書の年間目標・・・8848ページ ・生活実態調査で、毎日読書をしている児童の割合80%以上 ・調べ学習で図書室を利用した授業を実施(各学級年3回以上)		図書館の活用・読書の目標設定 学校図書館の環境整備Ⅰ ・チョモランマ読書活動		実態調査の実施	学校図書館活動についての中間検証	学校図書館の環境整備Ⅱ ・チョモランマ読書活動 学校図書館の環境整備Ⅲ 年間目標達成状況調査 読書祭り						・本年度の総括と次年度の方向性確認		
	道徳教育の推進 【道徳教育推進教諭】	・人権参観日の実施 ・道徳・人権の授業研究を行い、研究を深める。 ・道徳意識調査の実施 ・授業力診断シートを活用した授業改善を図る。 ・Q-Uを実施し、学級づくりに活用する。 ・キャリア教育の推進	各学級、人権・道徳の公開授業年1回以上 ・道徳意識調査の結果、大項目平均3.1以上 ・道徳の授業力診断シートの評価3以上 ・Q-Uの診断結果、満足群の児童割合100%以上 ・自己の将来に向け、目標を決め挑戦し達成する。		「道徳」「人権」の指導計画の作成 ・道徳の公開授業実施		道徳授業の意識調査実施	いじめアンケート Q-Uの実施 学級の実態把握・検証 ・道徳・人権の研修実施 ・授業実践(道徳的心情、実践力育成) ・市道徳研(授業研11月) ・ショートコメントコンテスト 道徳授業・授業評価 人権参観日(11月)						道徳の指導計画の改善 道徳の授業のあり方確認			
体	体育授業の充実 【体育主任】	・体育の授業に体力向上の運動を位置づける。 ・非常勤講師による体育授業	体力テストの判定全児童B以上 ・非常勤講師による授業(水泳授業5回、陸上5回)		体力テストについて ・スポーツテスト ・非常勤講師授業5.6.7月		・水泳教室	・水泳記録会	体力テスト期間 ・陸上記録会(10月) 縄跳び実技指導						・運動に関する実態調査・検証		
	体育・体育的活動の充実 【体育主任】	・朝マラソンの実施、一輪車名人の実施 ・生活実態調査実施・分析・啓発活動の推進 ・早寝・早起き・朝ご飯活動の啓発 ・生活点検の実施	朝マラソンの目標 ・一輪車名人100% ・生活実態調査で「運動が好き」の児童の割合100% ・生活実態調査目標達成者100%以上 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の目標達成100%		・体育集会(週1回)一輪車 ・保護者への啓発 ・参観日等での懇談(基本的な生活習慣、運動習慣) ・保小連絡会		生活実態調査の実施Ⅰ	泳力向上の取り組み 体育授業の改善 ・体育集会(週1回)一輪車 ・参観日等での懇談(基本的な生活習慣、運動習慣) 生活実態調査の実施Ⅱ						・体育科年間指導計画の見直し ・体力づくりについての総括 ・生活実態調査の評価と見直し			
命	防災・安全教育 【生徒指導担当】	・防災・安全教育の実施 ・安全管理の徹底 ・防災・安全に関する組織づくり ・いじめ防止の取り組み	避難訓練の実施(学期に1回) 安全点検(学期に1回) 安全見回り・補修(毎日) 危機管理マニュアルの見直し 学級生活アンケートの実施(学期に1回)		交通安全教室の実施 ・避難訓練の実施 ・施設・設備の点検整備 ・防災のための組織づくり ・アンケートの実施 ・防災・安全に関し、家庭、地域社会と連携した取り組み ・参観日等での啓発活動		救急法の実施 ・防犯教室の実施	・防災・安全教育の見直し ・いじめ防止の取り組み検証	避難訓練の実施 ・交通安全運動 ・休み中の安全教育(12月) ・施設・設備の点検 ・南海地震についての学習 ・アンケートの実施 ・防災・安全に関し、家庭、地域社会と連携した取り組み ・参観日等での啓発活動						・施設・設備の点検見直し ・防災組織の総括 ・アンケートの実施	・防災・安全・いじめ防止についての総括と次年度に向けた取り組み	
	健康教育 【養護主事】	・生活実態調査実施・分析・啓発活動の推進(調査学期1回) ・早寝・早起き・朝ご飯活動の啓発 ・むし歯予防につとめる(歯磨き指導)	生活実態調査で「運動が好き」の児童の割合70%以上 ・生活実態調査目標達成者80%以上(目標2.5満点3) ・「早寝・早起き・朝ご飯」の目標達成100%(目標2.5満点+3)		生活改善の取組 ・歯磨き指導 ・保護者への啓発		・参観日等での懇談(基本的な生活習慣、運動習慣)	生活実態調査の実施・検証Ⅰ	生活改善の取組 ・歯磨き指導 ・参観日等での懇談(基本的な生活習慣、運動習慣) 生活実態調査の実施・検証Ⅱ								
部活動 【 】																	